

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	できて ほぼ いる	できて いない こと が多い	できて 全く いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている	10	3			<ul style="list-style-type: none"> ・『住み慣れた地域で自分らしく暮 らせる』独自の理念を目に見え るところに置くことで、常に意識 できるようにしている。 ・「住み慣れた地域で暮らしたい」 と思う人が大半であり、自分ら しい在宅生活ができる様に支 援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意識出来る環境だと思います。 ・自己評価の通り。 ・自己評価の通りに支援されてい ると思います。 ・理念の明確化がなされている。 ・住み慣れた地域で暮らせるのが 一番。 ・「心身の機能の維持回復」に 対するコメントの記載も期待し たい。 ・特徴に基づいた理念が揭示さ れている ・在宅生活継続の要的サービス として、理念が明確にされてい る。 ・常時意識による行為、具体的 な支援等の実例に即した解説が あると分かり易いと思います。
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識してい る	7	6			<ul style="list-style-type: none"> ・毎年理念を基に業務計画の目標 を考えている。 ・毎月ミーティング、研修などを 通して、再確認できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を計画してそれに向けて 取り組まれていると思います。 ミーティング方法などを参考に したいです。 ・自己評価の通り。 ・スタッフの皆さんが、同じ目標 を理解し、一緒に考えていく事 は大事だと思います。これか ら、目標達成に向け、取り組 みをお願いします ・適切に行われている。 ・自己評価の通りと思わ る ・サービス内容の特徴を理 解し共有されている。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーター の判断能力など)の向上のため、 職員を育成するための具体的 な仕組みの構築や、法人内外 の研修を受ける機会等を確保 している	5	8			<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー全体研修、喜多町 研修を行い、技術向上に努 めている。法人内外の研修 はコロナ禍で確保できてい ない状態。 ・研修などで学んだことを スタッフ全員に情報提供す るシステムを作ると学びが 深まります。 ・オペレーターの判断能力 の向上のため、個々で指導 を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で研修機会の確保 が難しい中、工夫しながら 研鑽に努められていると思 います。 ・コロナ禍の中でも、工夫さ れて、学びの機会が継続でき ているのだと感じました。勤 務調整等もあり、大変だと思 いますが、スタッフ全員に周知 できるように、今後も工夫を お願いします。 ・適切に行われている。 ・今後はWEB研修等工夫を して外部の情報収集、サー ビスの向上を期待します。 ・コロナ禍であり、集合研 修が難しい中スタッフ全員に 浸透させるのは難しい時 もあるかと思ひます。 ・年間計画に基づき実施 できていると思われる。事 業所間での交流研修は効果 的であり、学びのよい機会 である。今後はリモート研 修が主流となっていくと思 われるため、積極的に活用 していきとよい。 ・昨年に引き続き、参加 できる研修が少なかったが、 少ない機会を活かし、専門 技術の向上のため取り組ま れていた。 ・オペレーターの判断能力 向上のための指導方法を 具体的に教えてもらいた いです。参考にしたいと思 います。 ・会議資料から内部研修 は実施されている様ですが、 「確保できない」とは予 定していた回数実施でき ていないという意味でし ょうか？ ・オペレーター指導の 講師は職員の方ですか？

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる	できて いない	できて いない	できて いない	
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]								
(2) 適正な人材の育成								
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	5	8		<ul style="list-style-type: none"> みんな同じ技術が身につくようにロールプレイ等行い、誰でも同じ援助ができるように検討している。 同行訪問することによりお互いに援助内容の確認にもなり能力開発にもなる。能力を発揮できるように、業務にも気持ちにも余裕を持つように努めている。 努力はしているが得意不得意や向き不向きがどうしてもある。職員数、勤務体制の都合で配慮できない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の通り。 コメント欄の得意不得意等があるという意見がありますが、今後もそういった点が軽減するよう取り組んでいただきたいと思います。 今後も職員ひとりひとりの能力経験等を踏まえたチームケアを期待します。 個性性を高く求められる現場において、工夫し配慮されていた。 統一した援助ができるよう取り組まれていることをロールプレイなど方法を教えてください。参考にしたいと思います。 職員の異動による影響等はありませんか？ 同じ利用者様に複数名のスタッフが行くこと、差の出ることも多いかと思えます。工夫するところがあれば教えてください。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	5	8		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で話し合いが出来てない状況だがTeam内で情報共有している。不明な点は連絡を取り合い確認を取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中でできることを努力されていると思います。 自己評価の通り。 「ほぼ」と回答している方が半数を超えています。改善点をより明確にすることでより良いサービスになると思います。 短時間であっても話し合いの機会を持てるよう工夫をお願いします。 タブレットを上手に利用し連携されていると思います。 担当者会議、フェニックスネット、電話を利用し、認識の共有がなされていた。
(3) 適切な組織体制の構築								
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	6	7		<ul style="list-style-type: none"> フレックスタイム制の様に出勤時間を変更し、緊急訪問、キャンセル等、利用者のニーズに沿えるように最大限努力している。 緊急時にどの職員でも訪問できるように、普段のシフト作成から工夫されている。業務については個々の得意分野を伸ばすように配慮された配置になっている。 柔軟に対応できるのは良いが、職員の負担に配慮する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の特性を職員も理解していることで柔軟な対応が出来ていると思います。 自己評価の通り。 ご利用者の生活サイクルや急な変更に対応しながら、職員の得意不得意分野に配慮しシフトを作成するのは大変なことと思います。 今後も利用者、職員、組織がWinWinの関係でいられるようなマネジメントを期待します。 利用者からの日々変化するニーズに対し、柔軟に対応されていた。 職員の負担が課題のようですが対策等はありませんか？
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	2	11		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で会議開催が出来ないが資料を配り、推進委員の皆さまよりご意見を頂いている。助言を頂いたところは反映できるように努力し、サービス提供に繋げている。 1つ1つの要望、助言、質問に対して資料を作成するなどしてお答えしていると思う。それぞれ検討し、サービスに反映させている。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見ご要望などに答えて分かりやすい資料作成をしサービスに繋がっていることがわかりました。参考にしたいと思います。 書面により会議内容を報告いただき、寄せられた要望・助言等に対する回答の報告もいただき、適切に反映されていると思います。 適切に反映されていると感じています。 適切に行われている。 コロナ禍で資料配布は大事な事。 よくできていると思います。 今後もサービス内容の開示により、活発な意見が出されるように工夫されることを期待します。 なかなか集合しにくい状況で工夫されていると思います。 自己評価の通り。 会議に参加できなかったが、資料により活動内容が理解出来ていた。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				でき ている	でき てい る ほ ぼ	でき てい ない こ と が 多 い	でき てい ない 全 く		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	8	5		<ul style="list-style-type: none"> 今までフェニックスネットで共有できていなかった事業所(デイサービスやショートステイ等)も参加されたことで、情報共有しやすくなった。 変化あり、異常ありのチェックがあり、他の事業所も見やすく情報や状況が報告され共有できるようになってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> フェニックスネットの活用が広がることで充実した情報が得られていると思います。当事業所でも共有出来るようになってきています。 自己評価の通り。 ICTを活用し、有効に使用されていると感じます。また、変化ありのチェックなどで、重要性の認識もしやすくなったのではと感じます。 適切に行われている。 今後も継続していただきたいと思います。 ソフト使用業者の拡大、ソフトの改善によりさらに使いやすく利用者に有効なものとなることを期待します。 タブレットを上手に使いこなすことは大変な事ですが、工夫されていると思います。 フェニックスネットを活用し情報を得た際には確認ボタンを押す習慣をつけると良いと思う。 今年度新たに、デイサービスやショートステイともフェニックスネットでの連携開始。情報共有が迅速に行えた。 	
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	5	8		<ul style="list-style-type: none"> 災害、防犯、事故対策にTeamを活用していつでも確認でき、迅速に対応できる様に心掛けている。 夜間の防犯対策にココセコム<small>の</small>防犯ベルが導入され安心感が増えたが、やはり一人訪問の為、夜間は気がかりである。 マニュアルを基に対策はしているが実際に動けるかシュミレーション行う必要がある。今年度はマニュアルの確認を重視して行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策や災害対策にも更に具体的な訓練が必要かと思えます。一緒に検討していきたいと思えます。 自己評価の通り。 夜間、車での移動、災害等職員一人の負担が大きいかと感じます。マニュアルや防犯対策など、スタッフが不安に感じている部分が解消できるように、今後も取り組んで下さい。 適切に行われている。 防犯対策は必要。 一丸となって取り組まれている事に敬意を表します、が、一番大切な職員、人材不足等難題抱える中大変でしょうが、一人訪問はお互い(両者)等不安が残ると思えますし、事故もないとも限りません。夜間対策だけでも、思えます。 実際に実施して気付く課題もあると思えます。 夜間の事業所の防犯対策にも力を入れられることを期待します。 災害のシュミレーションを今後考えていますが、なかなか難しいところです。 コロナ対応を徹底しながらのサービス提供は大変だが、決まりに則り適切に対応されていると思う。夜間の防犯対策をしっかり行い、職員の安全を守ってほしいと切に感じる。 既にシュミレーションはされてみましたか？災害、事故等はいつ起きるかわかりませんので、早い確認が必要ではないでしょうか？ 夜間、悪天候時の訪問では、まずは安全を第一優先にして下さい。訪問エリア内に、もしこぶし園職員宅があれば、もしもの時に助けを求めても良いかと、あらかじめ確認しておくとう安心感がありますか？ 	
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	12	1		<ul style="list-style-type: none"> 個人情報に関するものは鍵のかかる書庫に入れてある為、適切な取り扱いが出来ていると思う。 タブレットにパスワードでロックをかけることで、万が一の際も最悪の事態は避けられると思う。 1日1回全ての鍵の確認とその記録に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の取り扱いに十分注意していると思えます。 自己評価の通りだと感じます。引き続き、継続して取り組んでいって下さい。 適切に行われている。 サーバー保存は大切。 この項目は100%出来ているという事が望ましいと思うのですが、「ほぼ出来ている」と「出来ている」の相違が分かりません。自分に厳しい方がいらっしゃるという解釈します。 過去の経験を活かして対策を立てられています、職員教育も十分に実施されることを期待します。 個人情報管理のマニュアルがあるかどうか。マニュアル(決まり)に沿った行動の遵守。 個人情報の保護に努められている。 タブレットをダブルロックすることが大切かと思えます。コンビニのWi-Fiなどの危険の工夫はされていますか？ 	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	できて いる ほぼ	できて いない ことが多い	できて いない 全く		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	4	9			<ul style="list-style-type: none"> 利用者の状態が変わってきたときは、アセスメントを行い、訪問時間、援助内容を変更している。 新規利用者に関してはその方の生活リズムをつかむまで苦慮している。利用者の変化に応じてケアマネと相談し、リズムに合った生活が出来ているか着目し、必要に応じて計画の変更を行っている。 どの時間でご家族の介護が可能か考慮し訪問時間を提案している。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者の生活環境を把握することは時間や労力もかかると思います。変化に応じた調整のためのアセスメントはとても重要だと思います。当事業所でも常に意識して変化に気づくようにしたいと思います。 自己評価の通り。 具体的に書類を見ていないのでコメントできません。 アセスメント記録を残す工夫 ご利用者、ご家族の生活パターン、他のサービス利用に配慮し、計画の修正をされている。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	6	6	1		<ul style="list-style-type: none"> アセスメントを基に定期随時計画書の目標をたて、毎月看護のアセスメントがされている。状態変化があった場合は再アセスメントを行い定期随時計画書を作成しなおしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護との情報交換でアセスメントも充実できると思います。 自己評価の通り。 日々の経過記録だけでなく、計画書の内容も毎月確認している。毎月の看護アセスメント入力も確認されており、介護・看護両面からのアセスメント内容が共有されている。 「できていないことが多い」方が1名いらっしゃいます。できていない点等を今後改善していただければと思います。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	2	11			<ul style="list-style-type: none"> 毎月のミーティングで利用者状況を話し合い、利用者の状況に沿った計画を作成している。 現状の把握に努め適切な援助が出来ているか計画、実施、評価、改善している。 心身機能の維持に軸足を置いている。維持することで在宅生活の継続につながっている。 ご家族の意向もあるため、難しいこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のミーティング方法を参考にしたいと思います。 自己評価の通りだと感じます。引き続き、継続して取り組んでいって下さい。 適切に行われている。 ご家族のご意向とのすり合わせも大変かと思います。 対象者の年齢的特徴、要介護度を考えると「心身の機能回復や維持」は容易ではない。今後利用者の状態によっては、「緩やかな低下」や「安らかな終末期の生活」の為の計画も必要になってくると思われる。 利用者も参加した計画立案、評価でしょうか。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	できて いる ほぼ	できて いない ことが多い	できて いない 全く		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	1	10	1	<ul style="list-style-type: none"> ・状態が悪化してから計画変更する傾向があるので、先を見越して計画を立てる必要がある。 ・重症化しないように小さな変化でも情報共有し、ケアマネ、看護その他の助言を受ける事によって早めの対応をし、在宅生活を継続できるように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の通り。 ・日頃から、情報提供や、連携を重視されているためか、タイムリーに報告があり、助かっています。自己評価でもありますが、小さな変化に気づくことが大切であり、重要だと思えます。その変化に気づく力を今後も継続できるようお願いします。 ・適切に行われている。 ・「できていないことが多い」方が1名いらっしゃいます。できていない点等を今後改善していただければと思います。 ・今後は予測することは難しい事ですが、計画に組み込んでいく必要があると思えます。 ・疾病により回避できない病状の進行はあるが、その人の持ちうる機能を最大限に活かした生活支援を継続していただきたい。 ・先を見越しての計画は当事業所でも必要性と思えます。具体的に取る計画はありますか？ ・「状態が悪化してから…」とあります。看護との連携を強めながら今後も早めの対応をお願いいたします。 ・未来志向型とは何ですか？ 	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	9	4		<ul style="list-style-type: none"> ・受診や突発的な事が起きた時は業務調整するなどして柔軟な対応を心がけている。 ・ご利用者のニーズや状態変化に合わせて日時、回数を変更し対応している。 ・試行期間を設け、評価し新たに提供日時を設ける様にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の対応が柔軟にできることは大変ですが利用者家族にとってはありがたい事だと思います。試行期間を設けて評価する方法は当事業所でも参考にしたいと思えます。 ・自己評価の通り。 ・状態、状況に応じ、柔軟な対応をされている。 	
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	9	4		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを行いフェニックスネットで多職種に発信し、情報共有することにより、利用者等の状況変化を早期に発見することができている。計画変更が必要な場合はケアマネへ連絡し適宜反映が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出ています。 ・自己評価の通り。 ・他職種からの情報をスピーディーに収集されており、計画修正を迅速にされている。 	
5ページ目									

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	できて いる ほぼ	できて いない ことが多い	できて いない 全く		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	7	6		<ul style="list-style-type: none"> ・介護職には出来ない医療行為に関しては、看護に相談連絡している。 ・看護職にいつでも連絡できる体制が整っているので、心配なことがある時は確認の電話を入れて助言をもらう事で安心して援助ができる。 ・介護職の出来る事、出来ない事を明確にし、役割を分担している。場合によっては看護職より助言を頂き、協力し合い、対応できる方が行っている。 ・医療的な面で分からない事はすぐに看護職へ連絡を取り、効率的なサービス提供に努めている。 ・介護職ではできないことを利用者・家族に理解してもらうのが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係の援助については当事業所でも看護に相談しています。ご家族のご理解を得る事が難しいのは同じです。どのように対応したらよいか悩みます。 ・専門性を生かしたサービスの提供には職種間の連携・協働と共に利用者・家族への丁寧な説明が繰り返し必要になってくることと思われます。助言や協力関係がある中で専門性を持ってサービス提供を行っていることが周知されると利用者・家族にとっては安心感が増すのではないのでしょうか。 ・専門性を生かした役割分担が行われ、職員の方が安心して援助できていることは大変良いことだと思います。 ・互いの独自性を活かしてほしい。 ・介護職、看護職の専門性を活かして役割分担が出来ている。 ・利用者、家族にご理解いただけるように現在取り組んでいることはありますか？ 	
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	9	4		<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡の対応、利用者に合った食事形態、嚥下具合など、フェニックスネットを使って指導助言をもらっている。職員全員が把握しやすい。 ・毎月のモニタリングにて助言頂く事もあり、判断に困った時は看護職に相談をし指示を出していただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護との連携ができています。 ・自己評価の通り。 ・介護職から積極的に気付いた点について質問していけるとよい。 ・毎月のアセスメント訪問後の入力時、助言できるよう努めている。 	
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	4	9		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にサービス内容、目標、自立支援に向けてのサービスであることを伝えていますが、理解して頂いていないこともありその都度説明している。 ・利用者に自立を目指すものと説明しても徐々にヘルパーに依存的になってくるので、その都度説明している。 ・自立支援に向けたサービスを提供しているがA DL・意欲低下が見られた時に、自立「自分らしく生活できる」支援が提供できるように職員全員が意識して関わることも必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立を目指して自分らしく生活できる支援の提供。素晴らしいです。参考にしたいと思います。 ・利用者・家族が理解しやすい方法で繰り返し説明されることが大切だと思います。 ・他のサービスにはない、特殊なサービスのため、パンフレットや事例を基に利用者・家族へ説明しています。 ・理解していただくために、何度も説明が必要な時もあるかと思いますが、それがより良い支援につながるのではと感じました。 ・適切に行われている。 ・自立支援のサービスですが利用者の意欲を引き出すことがテクニックとして必要になるかと思います。 ・介護サービス全般が、自立支援を目指すものだと理解が進んでいない。担当ケアマネジャーの協力が必要。 ・自立支援については何度も繰り返し説明することで、ご理解いただけますか？また説明する際に工夫していることはありますか？ 	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できていない ことが多い	できていない ことが多い	できていない ことが多い	できていない が多い	
II 過程評価(Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	2	11		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本人に理解してもらうのは難しい場合もあるので、サービス中にも声掛けしながら認識してもらう。 ・認知力が乏しい場合はご家族へ説明し理解を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できています。 ・自己評価の通り。 ・その方に合ったタイミングや説明方法を考慮しながら、ご理解いただけるようお願いいたします。 ・適切に行われている。 ・目標、内容の共通認識に努力されている。左記の内容で継続してください。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	7	6		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス時に特変等があればご家族、関連機関へも連絡・相談している。 ・ご家族によってすぐに連絡が取れる時とそうでない時がある。介護者が留守や連絡が取れない場合は、メモを残したり改めて電話をしたり直接説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫されています。 ・自己評価の通りでできているのではと感じています。日頃の関りの中でもケアマネに対して報告して下さり、助かっています。 ・適切に行われている。 ・ご家族への情報提供は時間のズレもあり難しいところがあるかと思えます。 ・適時・適切な報告相談がされてる。左記の内容で継続してください。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	6	7		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のモニタリングで情報共有でき、状態に変化があれば担当者会議を行い、利用者に合わせてサービス提供日時等を決めている。 ・ご家族へ近況報告やケアマネに相談等し、必要に応じて提供日時等決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出ています。 ・自己評価の通り。 ・電話連絡やICTを通し、情報提供を受けており、助かっています。また、状況に応じてサービス担当者会議の要請もあり、変化に合わせて、ケアプランの変更が可能となっています。 ・適切に行われている。 ・モニタリングの情報が細かくてありがとうございます。 ・適切に連携されている。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	2	10		<ul style="list-style-type: none"> ・各地域でのサービス(配食、ボラ銀行)などよく理解していければと思う。 ・ヘルパーの援助内容だけで対応が困難な場合やご本人の身体的、体調面、家族の介護力等判断し、デイサービス、ショートステイ、ボランティア、配食など提案している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のサービスを知る事も必要な援助になると思うので当事業所でも確認していけるようにしたいと思えます。 ・地域包括支援センターでは地域の社会資源について様々な情報を把握しています。必要に応じて情報提供や地域関係者とのネットワーク作りにおいて連携を図るのではないかと思います。 ・利用者の状況に合わせた支援の提案等を積極的に連絡受けています。うまく結びつかない事もあり、皆さんに迷惑をお掛けすることもあります。ケアプランの見直し等有効に情報を活用させていただいております。 ・適切に行われている。 ・今後も助言の機会を持って支援されることを期待します。 ・配食サービス等の情報を把握することは大切で提供させて頂いています。 ・必要時、他のサービス提案もされている。インフォーマルサービスについての情報共有に努めたい。 ・「ボラ銀行」とはどのようなものですか？

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できていない ことが多い	できていない	できていない	できていない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	6	7		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、担当者会議も開催できない状況もある。Teamの加入事業所を増やし情報共有を図っている。 ・担当者会議に出席できない場合は照会で状況を伝え、目標達成に向けてフェニックスネットを通じて多職種への情報共有が行えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫されています。参考にします。 ・自己評価の通り。 ・サービスの利用頻度が多く支援していただいているため、皆さんからの情報は非常に有効です。今後も、情報発信やご意見をお願いします。 ・適切に行われている。 ・フェニックスネットがもっと多くの事業所が利用して頂けると良いですね。 ・出来ている。 ・担当者会議への出席機会が減っている。照会だけでなく、フェニックスネットを上手く活用されている。 	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	4	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なことは伝えているが保険外サービスを使うことに利用料金面で躊躇され、利用につながらないことがある。 ・必要時は他サービスも検討して頂けるよう勧めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保険外援助や料金などからサービスに繋がらないケースは同じようにあります。必要性をご理解いただけるにはどうしたら良いか当事業所でも検討していきたいと思えます。 ・自己評価の通り。 ・利用者の状況に合わせた支援の提案等を積極的にされていると感じます。うまく結びつかない事もありますが、ケアマネも含めて一緒に考えていければと思います。 ・適切に行われている。 ・保険外サービスは難しいところがあります。 ・個々でこれまでの生活状況が異なり、保険外サービスについての理解・活用が難しいと思えます。必要時はタイミングをみて再説明してご理解頂いてください。 	
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	6	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で病院でのカンファレンスが出来ていない状況で新規受け入れたのち、状態が安定せずすぐ入院になるケースが多い。 ・入院時の様子、退院後に起こるかもしれないリスク等看護サマリー、フェニックスネットでの情報共有行われている ・退院前カンファレンスが開かれ、病院で乗方法や装具のつけ方等のレクチャーを受けたことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫されている。 ・自己評価の通り。 ・コロナ禍で担当す皆さん全ての担当者会議もままならない事もありますので、皆さんからも知りたい情報等ありましたら積極的にご意見下さい。事前に情報収集し、なるべく情報と現状に差がないように努力していきます。 ・適切に行われている。 ・退院前カンファレンスが毎回開催されると助かりますね。 ・コロナ禍により、入院中の情報収集の難しさがあります。退院後の体調が心配なケースは、始めから訪問看護も導入して頂くよう、担当ケアマネージャーへ働きかけて下さい。 ・「コロナ禍で病院でのカンファレンスが…」とありますが、その場合はどのように情報共有を行っていますか？ ・2つ目の意見からは、情報共有がスムーズな印象を受けました。情報の受け止め方も個人差が生じることがあると思えます。情報共有で工夫や配慮していることはありますか？ 	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できていない こと が多い	できていない こと が ほぼ	できていない こと が ほとんど	できていない こと が ほとんど ない		
II 過程評価 (Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	2	9			<ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイ、デイサービスとTeamでの連携を始め、サービスでの様子が分かり連携強化につながっている。 ・地域との関りをもう少し出来ると良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ている。 ・地域包括支援センターでは地域の民生委員児童委員やコミュニティセンター、町内会との連携・関係づくりに取り組んでいます。地域関係者とのネットワーク作りにおいて連携を図れるのではないかと思います。 ・アウトリーチの姿勢も大切かと考えます。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	5	8			<ul style="list-style-type: none"> ・迅速にはいかないが情報発信は必ず行っている。 ・いつでも閲覧できるようにファイルされており、過去の開催時の内容も確認できるようになっているが、頂いた質問や助言に対してどのような回答がされ、助言をどのように活かされているか全ての経過を把握できていないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の通り。 ・適切に行われている。 ・ファイル管理は重要。 ・現状で良いと思います。 ・なかなか迅速な情報発信は難しいです。急ぐ時は電話になる事も多くあります。 ・情報提示はしてあっても内容が十分に伝わっているとは限らないため、周知の方法には工夫が必要。 ・今年度は会議に出席出来なかったが、情報は頂いていた。 ・推進委員には会議録等、いつも書類をいただいています。事業所内では、回覧されたり、伝達研修等されると、皆さんに周知されるのではと考えます ・意見の2つ目については、対応策を検討いただければと思います。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	1	6	6			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にてなかなか難しい。方法検討必要。 ・誰にでも分かりやすい広報があると良いと思う。
9ページ目									

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	できて いる ほぼ	できて いない ことが多い	できて いない 全く		
II 過程評価(Process)									
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		2	11	<ul style="list-style-type: none"> 全員が理解しているとは言えないので研修等で繰り返し伝えていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修を続けることで定着できるでしょうか。当事業所でも参考にします。 西長岡圏域は総人口が多く、高齢化率は他地区と比較すると高くはありませんが、市内で一番多くの高齢者を有しています。今はまだ前期高齢者が多い状況ですが、後期高齢化率の上昇は避けて通れません。介護保険事業計画等に基づいた計画的な地域づくりが求められていますので共に検討・連携を図っていかれと思います。 職員へ周知されている事を期待します。 内容が伝わっていないが、介護保険課より毎年年度末に開催されている「事業所説明会」の内容を確認してみる。 	
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	5	7	1	<ul style="list-style-type: none"> エリア内(包括にしながおか地域)でサービス利用の希望があれば受け入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 出来ている。 自己評価の通り。 包括にし圏域は範囲が広い為、移動や訪問スケジュールを組み立てるのに大変だと思いますが、唯一の支援です。継続した支援ができるようお願いいたします。 コロナ禍での方法を検討したいところです。 出来ていると評価できます。 エリアを広げて頂けると助かります。 適切に対応されていると思います。 	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている (※任意評価項目)	1	5	7	<ul style="list-style-type: none"> 会議開催などコロナで難しい事もあり積極的な提案と言われると出ていないのが現状。 ご利用者の現状、生活を把握、より良くすることは考えているが、課題提起とまでは出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在で出来ていると思う。 地域包括支援センターでは地域課題の把握に努めています。連携を図りながら問題意識の共有が図れればと思います。 会議の開催が無くても提案を考え続ける事を期待します。 感染予防優先の為、積極的に新しい関係を築くのが難しかったと思う。ご利用者の生活課題に着目しつつ、まずは、地域内の社会資源について情報収集をするところから始めてみて下さい。 会議以外には多職種間での意見交換の機会はありますか？ 	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できていない ことが多い	できていない が少し多い	ほぼ できている	完全に できている		
Ⅲ 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	6	7		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ごとに目標達成できているか評価し生活が継続出来ている。 ・計画目標達成を図り変化ある時はアセスメントし計画を見直している。 ・住み慣れた町で暮らしたいという思いは、達成できていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ている。 ・自己評価の通り。 ・在宅生活を送る中で、必要なサービスだと思います。「住み慣れた環境で生活できる」が達成できている証だと思います。今後も期待していきます。 ・適切に行われている。 ・十分達成されていると思われる。 ・今後も利用者や家族が望む生活の継続ができると良いと思います。 ・頑張っておられると思います。 ・在宅生活継続に対する介護面での不安が、定期随時サービスを利用することで軽減されていると思います。 ・利用者に目標を掲げさせるのですか？ 	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	9	4		<ul style="list-style-type: none"> ・「来てもらわなきゃ困る。」「助かったよー」「ヘルパーが来てくれて安心だ」などのお言葉を頂いたときに感じる。実際にサービスの導入により安定されている方が多い。 ・テレビ電話の導入によりさらに安心感が増したと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心感が得られており評価します。 ・自己評価の通り。 ・「いつでも繋がる」事が、利用者や家族にとって一番の安心感が得られていると考えます。毎日同じ時間に来る、必要な時は繋がる。その方の日常的な生活の中に、ヘルパーさんがいるという感じでしょうか。在宅支援を行う上で、重要な支援だと思います。 ・適切に行われている。 ・同感。 ・お一人おひとりの生活に寄り添うことは多職種との連携や情報共有、ご本人、ご家族の理解等から成り立っていると思います。今後もご尽力いただければと思います。 ・テレビ電話の導入は助かっています。 ・素晴らしいサービスだと思う。ぜひ地域を拡大していただきたい。 ・現在定期随時を利用されている方にとって、在宅生活を安心して継続するためには、なくてはならないサービスである。 ・タクシー代わりに救急車を呼ぶご時世。在宅生活宅から呼び出しがあった場合は、訪問基準というものはあるのでしょうか？全てに対応していたら大変だと思いますが、在宅側の立場になると頭が下がります。 ・テレビ電話の効果を広くアピールしてはどうでしょうか？ 	